Rotary 国際ロータリー　第2570地区　新座ロータリークラブ会報　2026～2027年度

NIIZA　Rotary　weekly

第1928号

令和8年12月3日　発行

国際ロータリー会長　オラインカ・ハキーム・ババロラ　『持続可能なインパクトを生み出そう』

第2570地区ガバナー　原島　生慈　『ロータリー活動に誇りを！』

会長方針　龍山　利道　『出会いに感謝　奉仕によろこび』

会長　龍山　利道　　副会長　増渕　和夫　　幹事　村上　俊之

CREATE LASTING IMPACT

第2321回例会　11月第1週　11月5日（木）

通常例会　『ロータリー財団月間』に因んで　村上俊之R財団委員長

司　　会　親睦活動委員長　髙沢　幹久
点　　鐘　会長　　龍山　利道
ソ ン グ　「君が代・奉仕の理想・四つのテスト」

会長の時間　会長　龍山　利道



皆様、こんにちは。ようこそお越しくださいました。

先日行われました夜間例会には多くの皆様のご参加をいただき、楽しい交流の時間を頂戴いたしました。ここで、先般のガバナー公式訪問を受けて浅野会員、山腰会員より自分が思っているロータリークラブについての思いをスピーチしていただきました。なるほどなあと思ったことがいくつもあり、非常に実りのある例会となりました。

さて先月、増渕会員よりお誘いをいただき、プロゴルファーの新井規矩雄さんとラウンドさせていただく機会を得ました。御年８３歳ということですが、素晴らしいショットを目の当たりにして随所に往年の名プレイヤーの片鱗を披露していただきました。結果は８オーバーでしたから目の前でエージシュートを達成していただきました。プロゴルファーであるからゴルフが上手であることが当たり前のように思いますが、日ごろの鍛錬がなければその技術を維持することはできません。改めて何事においても日々精進を怠ってはいけないことを学ばせていただきました。

今月の１１月２２日は地区大会がございます。お忙しいと思いますが、会員のみなさまにはご参加賜りますようお願いいたします。

本日の例会どうぞよろしくお願いいたします。

幹事報告　幹事　　村上　俊之



１、１１月のロータリーレート　１ドル⇒157円

１、地区事務所より５件受信

１）2026-27年度 地区大会フライヤー及び地区大会記念企画の案内・地区会計収支報告書
２）「ストーリーテリングキャンペーン」へのご協力のお礼と今後のお願い
３）令和8年熊本地震義援金に対するお礼
４）追加のメークアップDay登録
５）バギオだより第117号

１、赤い羽根共同募金運動

『地区大会in秩父』 “秩父から広がる友情と希望の輪”

「地区大会」大会二日目のご案内

期日：１１月２２日（日）　点鐘：１３時
登録受付：１１時４５分～
会場：秩父宮記念市民会館

今月のお祝い



会員誕生月：出浦惠子・吉原礼子　各会員
伴侶誕生月：なし
結婚記念月：松岡昌宏・加藤涼聖・宮川勝平・神谷稔・神谷浩一・髙橋遼太　各会員

委員会報告

米山奨学委員会　　委員　高沢　幹久



米山寄付金ご協力のお願い

現在２６名の皆様にご協力を頂きました。
引き続き宜しくお願い申し上げます。

米山寄付金：10，000円以上

R財団委員会　　委員長　村上　俊之

R財団寄付金ご協力のお願い

１１月はR財団月間です。お陰様で２６名の会員の皆様にご協力頂きました。全会員の皆様にご寄付して頂ければ補助金を使って充実した社会奉仕活動が出来ます。どうぞ宜しくお願い致します。

R財団寄付金：100ドル以上（11月は15,700円）

親睦活動委員会　　委員長　吉原　礼子

「クリスマス家族例会」へのお誘い
ご家族をお誘いのうえ是非ご参加ください。

日　時：12月10日（木）点鐘：19時
場　所：ベルセゾン　６F　Hisyo
登録料：会員：10，000円　家族：8，000円
お子様ランチ：3，000円

『新座市ボランティアまつり　&　ポリオ撲滅募金活動』参加ご協力のお願い

社会奉仕委員会　　委員　石原　勇介



新座市ボランティアまつりは、昨年に引き続き「ポリオ撲滅募金活動」で参加します。
会員の皆様、何かとご多忙の事と存じますが万障お繰り合わせの上ご協力下さいますよう宜しくお願い申し上げます。

日時：11月29日（日）開会式：9時30分～14時
場所：新座市役所駐車場
催し物：「輪投げ」
集合時間：９時（社会奉仕委員会・会長・幹事）
会場準備の為　　午前の部　9:00～11:30
会場の後片付け　午後の部　11:30～14:00
駐車場　商工会駐車場・市役所職員用駐車場

★☆★小雨決行★☆★

スマイル報告

親睦活動委員会　　委員　小泉　哲也

龍山　利道会員　ロータリー財団月間です。村上俊之委員長宜しくお願いします。
村上　俊之会員　本日の卓話宜しくお願いします
戸髙　健司会員　息子の進学先が決まりました。行き先はともかく、行く場所が決まりホッとしています。
小泉　哲也会員　次男がＩＴＦヤナガワと言う国際大会にてダブルスで優勝致しました。
宮川　勝平会員　村上委員長、卓話宜しくお願い致します。結婚記念月です。
岡本比呂志会員　５０周年記念誌の会員メッセージ「ロータリーと私」お陰様で全員集まりました。ありがとうございました。
森田　輝雄会員　村上Ｒ財団委員長よろしくお願いします。
森　　克巳会員　村上Ｒ財団委員長、卓話よろしくお願いします。
浅野　喜光会員　村上さん卓話楽しみにしています
小島　　武会員　今日もよろしくお願いします。
鹿毛　利久会員　本日、よろしくお願いします。
加藤　涼聖会員　村上委員長、財団のお話し楽しみにしております。
増渕　和夫会員・並木　傑　会員・石原　勇介会員
吉原　礼子会員・髙沢　幹久会員
『村上俊之ロータリー財団委員長、卓話楽しみにしております』

卓話『ロータリー財団月間』に因んで

ロータリー財団委員長　村上　俊之



ロータリー財団についての卓話は、今年で３年目となります。

ロータリー財団は、ロータリーの奉仕活動を支える重要な存在ですが、その仕組みや寄付金の使われ方について、普段から詳しく知る機会はそれほど多くないかもしれません。本日の卓話が、長年ロータリーに携わっている皆様には改めて理解を深めていただく機会となり、入会歴の浅い皆様には財団を知るきっかけとなれば幸いです。

本日は、①ロータリー財団について、②寄付金の使途について、③具体的活動と今後の展望について、以上の３点を中心にお話しいたします。

①ロータリー財団についてご説明いたします。
ロータリー財団の正式名称は、「国際ロータリーのロータリー財団」です。その使命は、ロータリー会員が、人々の健康状態の改善、質の高い教育の提供、環境保護、貧困の解消などに取り組むことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるよう支援することにあります。
ここで、国際ロータリーとロータリー財団の関係について、少し触れておきたいと思います。国際ロータリーとロータリー財団は、法律上、別々の法人となっております。国際ロータリーは、世界各地のロータリークラブの活動や運営を支える会員組織です。一方、ロータリー財団は、補助金や奨学金などを通じて奉仕活動を資金面から支援する慈善団体です。つまり、両者はそれぞれ異なる役割を担いながら、ロータリーの活動を支えているということになります。
ロータリー財団は、皆様からの寄付金を基礎として運営されております。寄付には、大きく分けて年次基金、恒久基金、使途指定寄付の３種類がございます。年次基金は、ロータリー財団のさまざまな活動を支えるための寄付です。この年次基金には複数の寄付先があり、後ほど説明する「シェア」もその一つです。一方、恒久基金は、寄付された元金を積み立て、その運用収益を活動資金に充てるものです。また、使途指定寄付は、特定の活動や目的を指定して行う寄付となります。
こうした寄付について、第2570地区では、本年度の寄付目標が示されています。具体的には、クラブ寄付として、会員１人当たり年次基金に５０ドル以上、恒久基金に３０ドル以上、ポリオプラスに３０ドル以上となっております。又、これらのクラブ寄付とは別に個人寄付として、年次基金に１００ドル以上という目標が設定されています。
このように、私たちロータリー会員はそれぞれの寄付を通じて財団の活動を支えているわけです。

②寄付金の使途についてご説明いたします。
皆様から寄付いただいた資金が、具体的にどのような仕組みで奉仕活動に使われているのかを見ていきたいと思います。まず、年次基金の内、シェアと呼ばれる寄付先には寄付金を３年間運用した後、活動資金として活用する仕組みがあります。具体的には、シェアに１００ドルを寄付した場合、そのうち５ドルが運営費に、残りの９５ドルが活動資金に配分されます。そして、この９５ドルは、国際財団活動資金と地区財団活動資金に分けられ、それぞれ４７．５ドルずつが配分される仕組みとなっております。また、恒久基金から得られる運用収益も、ロータリー財団の活動を支える財源となっています。
国際財団活動資金は、グローバル補助金など、国際的な奉仕活動を支援するために活用されます。一方、地区財団活動資金は、地区補助金などに活用されます。このうち、地区補助金は、国内外の地域社会が抱える課題に対応する、比較的小規模で短期的な活動を支援する制度です。このように、ロータリー財団では、寄付金を世界規模の奉仕活動に活用する一方、私たちの身近な地域での活動にも役立てる仕組みが整えられております。
ここで、ロータリー財団がどの程度の規模で活動しているのか、具体的な金額をご紹介いたします。2024－25年度のデータによりますと、ロータリー財団への寄付総額は、４億６５０万ドルに上ります。また、事業配分額として、ポリオプラスには１億５１３０万ドル、グローバル補助金には８１００万ドル、地区補助金には２７８０万ドルが計上されています。いずれも非常に大きな金額であり、ロータリー財団を通じて、世界各地で疾病の予防や教育支援、地域社会の発展など、さまざまな活動が支えられていることが分かります。こうした実績からも、世界中のロータリー会員や支援者から寄せられた寄付金が、幅広い奉仕活動につながっていることを実感していただけるのではないかと思います。
③具体的活動と今後の展望についてお話します。
まず、私たちにとって身近な地区補助金についてです。新座ロータリークラブでは、本年度も「薬物乱用防止講演」を実施するにあたり、教育カテゴリーの事業として９６０ドルの地区補助金が交付されました。先ほど、地区補助金は比較的小規模で短期的な活動を支援する制度であるとご説明しましたが、私たちのクラブが地域社会のために行う奉仕活動にも、このように補助金が活用されております。
私自身、ロータリー財団委員会の委員長を３年間務めさせていただく中で、地区補助金の制度や申請手続、具体的な活用方法について、ある程度理解を深めることができたと感じております。こうした経験を踏まえ、次の段階として考えていきたいのが、グローバル補助金の活用です。
グローバル補助金は、海外のロータリークラブなどと協力して行う、比較的大規模な国際的奉仕活動などを支援する制度です。地区補助金と比べると、一般に事業の規模が大きく、海外のクラブとの協力関係や、長期的な成果を見据えた事業計画など、求められるものも多くなります。その一方で、グローバル補助金を活用することによって、一つのクラブの資金や活動だけでは実現が難しい事業にも取り組むことができ、奉仕活動の可能性を大きく広げることができます。
新座ロータリークラブとしても、これまで取り組んできた地区補助金の活用に加え、今後はグローバル補助金についても理解を深め、どのような形で活用できるのかを検討していければと考えております。
結びとなりますが、ロータリー会員は、会費を通じて国際ロータリーを支援し、寄付を通じてロータリー財団を支援しております。一人の個人や一つのクラブでできる奉仕活動には、どうしても限界がございます。しかし、世界中のロータリー会員がそれぞれの力を持ち寄り、共通の目的に向かって活動することで、個人やクラブだけでは成し遂げられない、大きな成果を生み出すことができます。そして、私たち一人ひとりの寄付を、こうした奉仕活動に結び付ける役割を担っているのがロータリー財団です。
新座ロータリークラブとしても、引き続き地区補助金を活用して地域社会への貢献を続けるとともに、グローバル補助金にも目を向け、さらに奉仕活動の幅を広げていければ幸いです。